

# 議会だより

題字は三田川中学校3年 中島宙来<sup>そら</sup>さんの作品



10月の軽トラ市来場者数1万人越え

Vol.66

令和5年 9月議会号

【第66号の内容】

- 決算特別委員会…2
- 9月定例会…5
- 賛否状況…6
- 一般質問／9人が登壇…7
- 議会の主な活動・意見書・編集後記…16

一般質問ページに、今回から挿入しているQRコードを読み込んでいただきますとYouTubeにて配信している一般質問の動画が閲覧できます。

「議会だより吉野ヶ里」がスマホで見られます！



議員が原稿作成・編集した  
議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2  
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ティー&ピー 【発行年月日】令和5年10月26日

吉野ヶ里町議会がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町ホームページ

<http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>にアクセスし、「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリック!!

令和5年6月号議会だよりにてタイトル作者氏名に誤りがあり、関係者の皆様へお詫び申し上げます。

# 令和4年度 決算認定 決算特別委員会で決算審査

## 会計別決算状況

会計	歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計	105億3,096万円	102億 311万円	3億2,784万円
国民健康保険	16億3,215万円	16億3,154万円	61万円
下水道	8億2,378万円	7億4,475万円	7,902万円
簡易水道	266万円	264万円	2万円
後期高齢者医療	2億 906万円	2億 682万円	224万円
工業団地造成事業	1,620万円	1,619万円	1万円

※決算書の数値は端数調整をしていないため合計額は合致しない。

## 決算特別委員会質疑

**Q** 町営住宅使用料が減っている。入居条件緩和等などをして入室増加に努めていただきたい。

**A** 令和5年3月末、室数500戸に対して入居356戸、空き数が144戸で、前年度より使用料が減った。

**Q** 健康運動使用料について、きらら館とふれあい館の使用人数は、ふれあい館の開館時間を延長する要望等はあるのか。

**A** 令和4年度、きらら館は約1200人、ふれあい館約510人。ふれあい館は月・水・金でオープンしていて、閉館時間は17時だが、時間延長の要望はなかった。

**Q** 町民税は、3年度減、4年度は3750万円の増であった要因は、法人税割の減要因は、納税義務者数103人の増。総所得額等が500万以上で50人増。法人税割の減は設備投資のための減とみられる。

**A** 納税義務者数103人の増。総所得額等が500万以上で50人増。法人税割の減は設備投資のための減とみられる。



町営住宅

## 決算審査意見書(抜粋)

町においては、中心地づくりの先駆けとして統合庁舎を先行整備することとし、令和7年度の完成を目指し、ハードなスケジュールの中で事業に着手されている。

それに伴い、全庁における備品管理について、早期に整備すべき重要な課題の一つとして捉え、管理状況を調査した。

運用の共通化や今後における管理運営のあり方など、事務改善や検討を要する事項が認められた。

効率性・経済性の面からも適正な事務の執行につなげるための課題の整備と積極的な改善を強く要望する。

限られた人員の中で町行財政・財産管理を行っていくには、より効率的な業務遂行が求められる。

自治体DXが加速する中、「住民の利便性」「行政サービスの向上」「事務の効率化の実現」に向けたデジタル化の推進を図るためには、組織体制の構築、人材確保及び育成への取り組みは必要不可欠である。

監査委員 寺崎 泰法  
生島 信一郎

## 決算特別委員会報告

令和4年度一般会計、特別会計の5会計決算について、令和5年9月5日～7日の3日間において歳入歳出決算書監査委員の決算審査意見書等を基に審査を行った。

### 【一般会計歳入歳出決算】

歳入において、収入未済額は3,147万円で、不納欠損額113万円。

収入未済額の主なものは、町税が1,452万円、使用料及び手数料は1,694万円であった。

### 【国民健康保険特別会計歳入歳出決算】

国民健康保険税の収入未済額は1,908万円で、不納欠損額は202万円。

### 【下水道特別会計歳入歳出決算】

使用料の収入未済額は420万円で、不納欠損額は26万円。

### 【簡易水道特別会計歳入歳出決算】

収入未済額、不納欠損額は無し。

### 【後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算】

保険料の収入未済額は87万円。

### 【工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算】

収入未済額、不納欠損額は無し。

執行部においては、決算特別委員会における質疑意見等については、さらなる認識を深め、職員一丸となって5年度下半期の予算執行並びに6年度予算編成に活かしていただくことを熱望し、決算特別委員会の報告とする。

決算特別委員会委員長 筒井 佐千生

**Q** 衛生手数料で、犬の登録手数料3年度は約23万円で4年度は約70万円。増えた要因は、

**A** 犬の登録数は、3年度末で約800頭、4年度末で1100頭。上石動地区の犬舎で増えたのが要因である。

**Q** 一般寄付金4年度は1万5千円の計上だが、3年度は約985万円の計上になっている。違いは、

**A** 3年度は2人の方から高額額の寄附があった。4年度は1万5千円の一般寄附だった。

**Q** 一般寄附は納税ではないので、受付はどうか。

**A** 一般は総務課、ふるさと納税は企画調整課で受け付けている。

**Q** 温浴施設賃借料が令和3年度より約80万円減。客数は増えたが、なぜか。

**A** 築15年経過しているため、固定資産税相当額などが下がっている。

**Q** 4年度から積算根拠を見直しているの、前年度より減になっている。

**A** 行政財産使用料が年々増えている。良いことではあるが、内訳は、

**Q** 東脊振健康福祉センター使用料が減っているが、新型コロナウイルスで減っているのか。

**A** 総務使用料なので庁舎及び駐車場などになる。

**Q** 中長期在留者住居地届出は前年度より増えたのか。

**A** 前年度より増えた。4年度は243件だった。



ふるさと納税の品物



温浴施設

年度はたけのこが裏作でたけのこ湯がきが少なかったのが要因。



さとやま交流館

**Q** 田手川堰統廃合検討調査委託の計画と現状は。

**A** 1～4号の堰の統廃合を行い、下流の1号堰は既存堰を維持。2、3号堰は廃止、4号堰は補修を行う予定で神埼市は調整中。

本町は地区に説明している。

**Q** 駅コミュニティホールの管理者が代わったが、目立った取り組みが見えない。

**A** 駅周辺の清掃やホールの管理を行っているが、盛り上げに欠けている。もう少しイベントの取り組み強化をしてもらいたい。今後「よりみち広場」との連携も考えている。



駅コミュニティホール

**Q** 標準学力診断委託料について、各学校において相違があるが。

**A** 三田川小全学年、東脊振小1～3年生、中学校全生徒で実施。校長の判断で実施だが、結果については学校間での情報共有を行っている。

**Q** 学校給食委託料増の話はあるか。

**A** 話はあっている。物価高騰などで、現状では合わないとのこと。5年度より適切な経費部をを加味する。



学校給食

**Q** 財産収入の土地建物売却代金が昨年より500万円ほど増加した要因は。

**A** 増加要因は、道路整備事業の代替地土地開発基金で先行取得した土地を売却したこと。今後は、目的のない土地は売却していく方針。なお、売却は入札方式で高く売却。

**Q** 巡回バス運行(通学、通勤除く)が9月までで廃止されるが、教育支援センター「ほうゆう」に変わっている児童、生徒への10月からの救済措置は。

**A** バス通学が数名いる。今後、担当課、財政協働課と協議を進めたい。

**Q** 公営企業会計適用に伴う移行業務委託料491万7千円。令和6年に公営企業会計に移行するが、職員の対応は。

**A** 建設事業課、会計課、財政協働課、総務課、税務課と会計士を交えて勉強会を行っている。



巡回バス

**Q** 児童福祉費、委託料、子育て援助活動支援員養成講座委託料は何名の方が受講され、何名登録されたのか。

**A** 15名の方が受講され、8名の方が受講終了証を受け、6名の方が提供会員に登録された。

**Q** 小中学校管理費の看板改修工事費。国県支出金の内容にあり。

**A** 老朽化の状態にある。佐賀2024国スポ開催による地域的美観整備を目的にした看板改修事業があり利用する。

## 令和5年度 9月定例会

今期定例会は9月4日から15日までの12日間の会期日程で開催された。提出議案は条例改正3件、補正予算6件、諮問2件、その他2件、令和4年度決算6件の議案を審議し、可決した。一般質問は9名が登壇した。

### 条例関係

○職員給与に関する条例の一部を改正する条例

※新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことにより、感染症防疫作業手当を廃止するため。

○企業立地奨励に関する条例の一部を改正する条例について

※県の制度改正に伴い、企業の誘致に繋がるよう奨励制度の見直し

### 諮問

○人権擁護委員の推薦

※委員の任期満了に伴い推薦することに同意  
古賀 賢治さん (大曲)  
山崎 良彦さん (吉田)

### その他

○佐賀県市町総合事務組合規約の変更について

※佐賀県東部環境施設組合が退職手当の支給に関する事務の共同処理に参加することに伴い組合規約を変更する。

○佐賀県東部環境施設組合規約の変更について

※佐賀県東部環境施設組合の共同処理する事務の変更に伴い変更する。

### 補正予算

○令和5年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第4号)

#### 主な意見

**Q** 県営産業団地の道路整備は県事業ではないのか。詳細は。

**A** 県負担部分は県の工事による。住宅隣接地等一部は町負担で実施。

**Q** 県営産業団地造成入で一日最大300台通るが振動調査はどうするのか。

**A** これから県と共に事前調査と説明を関係地区に行う。搬入作業中の道路破損等々は速やかに対応する。

**Q** 造成期間は2年に及ぶ。完成後の追加補修等の対応は。

**A** 完成後は県道神埼・北茂安線の工事

に取り掛かる。一日の交通量が多いので仮設道路等の支援も求めていく。

**Q** 保育所等給食費支援助事業費補助金の内容は。

**A** 物価高騰による子育て世帯の負担増を回避するために、園児一人当たり月額7500円の利用率の18%を補助基準額と定め食料費の支援にあたる。

**Q** 里山ふれあい広場は利用者減少傾向にあるが、Wi-Fi設置を行う理由は。

**A** 自家用車持ち込みを開始する予定である。車泊はインターネットによるQRコードを介して行うためネット環境の整備を図る必要がある。

**Q** 里山ふれあい広場の条例の中ではRパークの使用の位置付けは。

**A** 12月議会で条例改正を提案し、可決

○令和5年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

○令和5年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

○令和5年度吉野ヶ里町工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)





吉富 光三郎 議員



町長

町民の生活に支障のないよう行なう

# 1日最大300台のダンプ車運行 どのような対策を

**Q** 県営産業団地について、どのようなスケジュールで進んでいるのか。

**A** 企画調整課長 現在、実施設計を委託され、今年度末までに



東脊振インター工業団地予定地



県営産業団地予定地

農政局協議、開発許可手続きを終え、令和6年4月頃から造成工事に着手する予定となっている。

造成工事には約2年を見込んでおり、造成工事は完了は8年の春頃になる

と思う。

**Q** 造成工事時、1日最大300台のダンプ車が町内を運行すると聞かすが、町民の生活に支障をきたさないよう、どのような対処、対策を考えているのか。

**A** 企画調整課長 東脊振インター工業団地から土砂を積み、国道385号を下り、県道神埼・北茂安線を通るルートを予定している。通学時間を避けて、警備員を配置して安全確保を図りたい。

**A** 町長 特に下豆田地区の住宅街の路盤が弱いので、補正予算で改良工事をお願いし、

**A** 企画調整課長 返り、礼品提供事業者の割合はどうか。

**Q** 令和4年度ふるさと納税額は、また、過去10年間の寄附件数、寄附額はどのようになっているか。

**A** 企画調整課長 4年度のふるさと納税の寄附件数16万6683件、寄附金額21億8380万1千円となっている。

**Q** 吉野ケ里夢ロマン軽トラ市でも、町内出店者の割合は2割程と低いが、ふるさと納税返礼品業者数、町内業者の割合はどうか。

**A** 企画調整課長 返り、礼品提供事業者の割合はどうか。

総数は59社、うち町内事業者が35社で、割合は59.3%となっている。

**Q** 町内には体験施設が数ヶ所あるが、返礼品の活用はどのようになっているのか。

**A** 企画調整課長 体験施設は「山茶花の湯」「フォレストアドベンチャー」「吉野麦米」「eービークルパーク」の4ヶ所となるが、それぞれの施設で個別に利用できるチケットを返礼品として用意している。

**Q** 佐賀市が9月6日から現地決済型サービス「ふるさとNOW」を始めている。

**A** 企画調整課長 確かに経費削減となると思うので、今後、検討して活用していきたい。



小川 勝利 議員



総務課長

防災行政無線などで行う

# 災害時の啓発活動は

**Q** 線状降水帯などに水害が発生した場合や、大雨警報にて高齢者などの避難を命じた後、実際の避難者の人数は何名か。

**A** 総務課長 6月29日から7月1日の大雨では4世帯5名の方が避難されている。

全員が高齢者等避難発令後の避難者となっている。

7月8日からの大雨では、10世帯12名の方が避難されているが、全員が高齢者等避難発令後の避難者である。うち避難指示発令後の避難者は、5世帯7名となっている。

**Q** 避難指示を出した地区の住民に対して、実際の避難者は少ないようだ。災害が発生してからでは遅い。今後どのような啓発活動を行っていくのか。

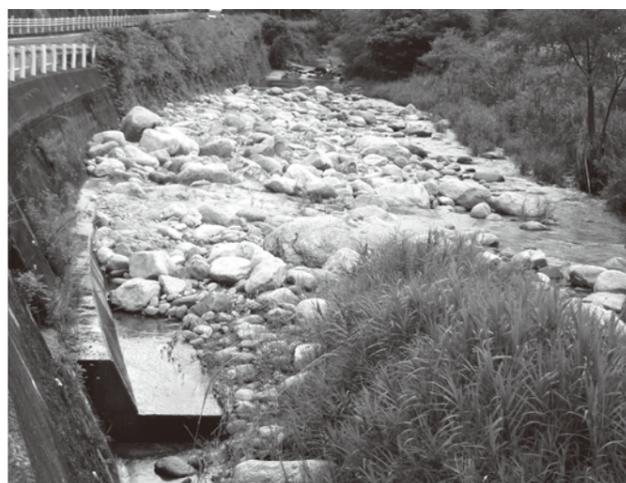
**A** 総務課長 平成30年7月の大雨の際には、田手川の堤防が決壊する恐れがあったため、被害想定区域を一軒ずつ回って避難を呼びかけたが、それ以外のときは防災行政無線やメール、ホームページ等でお知らせをし、本人に避難をする、しないを判断いただいている。

## 田手川について

**Q** 田手川の堆積土は年に何回採取しているのか。また、田手川



土砂が堆積している田手川



巨石が散乱している田手川

の管理は誰が行っているのか。

**A** 建設事業課長 田手川については、佐賀県の管轄となっており、管理については東部土木事務所で行っている。

**Q** その際の大雨時の監視体制はどのようになっているのか。

水防班を設置し、河川状況については、広円橋に設置している「監視カメラ」、および広円橋、松隈の2か所に設置している雨量計などにおいて注視しているところである。また、降雨の状況において、必要に応じて河川パトロールを行っている。本町においても佐賀東部土木事務所と連携し、情報の収集を行っている。

# 統合庁舎の次に統合中学校を整備すべきでは



生島 信一郎  
議員



町長

中心地づくり  
どういう施設を優先するか  
順位を定めながらやっていく

合中学校を整備すべきではないか。  
**答** 町長 中学校の校舎が古いというの  
は承知しているが、修繕  
の予算はきちんと確保し  
ている。担当課にもっと  
頑張ってもらわないとい  
けない。



統合庁舎の建設予定地

**Q** 統合庁舎の建設予定地が旧三田川北部共同乾燥施設跡地に決定した。当該敷地は庁舎本体を建てるには十分な広さであるが、庁舎を訪れる方の駐輪場・駐車場、また職員用駐車場のスペースが不足すると考えられるが対策は。  
**答** まち未来課長 利用者の駐輪場・駐車場については必要台数をクリアすることを前提に設計を進めている。

**Q** 職員等の駐車スペースについては、場所は確定していないが、統合庁舎を核とする中心地エリアに発展性を考えつつ整備することを検討している。  
**答** まち未来課長 現時点で道路計画は策定していないが、庁舎の完成に合わせて検討する必要があると考える。

**Q** あの一帯は農業振興地域で、農地法の縛りがあるはずだがスケジュールや法的問題はクリアできるのか。  
**答** まち未来課長 現在、佐賀県や担当部署との協議を行っているところである。

**Q** 中心地が発展するにつれ人の流れが変わり交通量も変わってくる。中心地エリアの道路改修計画はあるのか。  
**答** まち未来課長 現在、まち未来課長 現時点で道路計画は策定していないが、庁舎の完成に合わせて検討する必要があると考える。

**Q** 水道管を埋める工事に合わせて中心地エリアを無電柱区域にすることはできないか。  
**答** まち未来課長 費用の面から難しいのではないかと考える。

**Q** 中心地エリアには庁舎のあと複数施設が集約される予定である。  
町内2中学校の老朽化が限界に近い。統合庁舎の次に造る施設として統  
**答** まち未来課長 費用の面から難しいのではないかと考える。

今のところは防災・コミュニティセンターを第一に考えている。  
どういうものを優先していくのか、その順位を定めてあらためて議会にも提示したい。



中学校の修繕が急務の課題になっている

# 「2025年問題」を前に、町としてどのような取り組みを考えているのか



鶴 恵美子  
議員



福祉課長

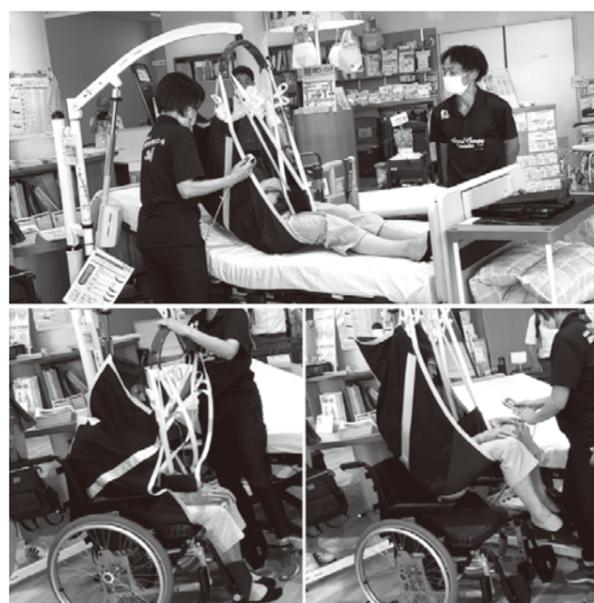
介護予防、認知症施策が重要と考え、取り組んでいる

**Q** 2025年、75歳以上の後期高齢者は町民の何%になると予測されるか。  
**答** 福祉課長 9月1日現在2,109人で人口の13.02%、2025年には約4,000人増加し、人口の15.4%となる見込み。

**Q** 2025年問題の前に取り組まれている事業は。  
**答** 福祉課長 介護予防事業として、各地区公民館で「いきいき健康クラブ」、「ガンバールン体操」、健康運動指導士による「はつらつ教室」などを行っている。

**Q** 介護が必要になった際、行わないといけない申請や、受けられる支援や給付金など、知らないで損することがないように、まとめてあるサイトはあるか。  
**答** 福祉課長 佐賀県が発行している「介護保  
「障害者支援ハンドブック」や佐賀中部広域連合が発行している「介護保

サイトはあるか。  
**答** 福祉課長 佐賀県が発行している「介護保  
「障害者支援ハンドブック」や佐賀中部広域連合が発行している「介護保



福祉用具を購入前に体験できる「佐賀県在宅生活サポートセンターにて」～ベッドから車いすへリフトでの移動

「腰痛」で悩まれている。  
佐賀県でも取り組まれているノーリフトイングケア（抱き上げない介護）への支援策は。  
**答** 福祉課長 介護施設内において先進機器を導入する際、県より介護ロボット導入支援がある。移乗介護・移動支援・入浴支援など、介護従事者の負担軽減効果のある機器とされている。

**Q** 介護現場での人手不足や家族介護の身体的負担は切実で、関係者の半数以上が「腰痛」で悩まれている。  
佐賀県でも取り組まれているノーリフトイングケア（抱き上げない介護）への支援策は。  
**答** 福祉課長 介護施設内において先進機器を導入する際、県より介護ロボット導入支援がある。移乗介護・移動支援・入浴支援など、介護従事者の負担軽減効果のある機器とされている。

**Q** 10月から運行開始する乗合タクシーはなぜ、町民だけでなく「誰でも利用できる」のか。  
**答** 財政協働課長 元々コミュニティバス循環線は誰でも利用

できた。これを廃止し、路線バスの手軽さとタクシーの便利さを併せ持つ新しい乗合サービス「よしくる」へ運行形態を転換した。  
**Q** 免許返納者や交通弱者など困っている方への支援事業ではないのか。  
**答** 財政協働課長 お住いの場所に関係なく、子どもからお年寄りまで平等に移動機会を提供するものである。

**Q** 利用者が増えた場合、町の負担は。  
**答** 財政協働課長 利用者が増えても町負担が大きくなることはない。  
**Q** 土日の運行はやはり難しいのか。  
**答** 財政協働課長 当初は「いつでも、どこでも、どなたでも」をキャッチフレーズに検討していたが、経費の問題、運転手の確保が難しい。

# 本町のDXに対する全体的なビジョンは



古川 清春  
議員



町長

吉野ヶ里町らしい  
DX化を推進する

**Q** DX（デジタルトランスフォーメーション）とは何か。

**A** 企画調整課長 D Xとは、デジタル技術を使って、ビジネスや社会生活のやり方を変えること。

**Q** 自治体のDX化とは。

**A** 企画調整課長 国が推進する「デジタル技術を使って、便利な行政サービスを提供したり、仕事の効率を上げたりすること」で、町民の生活を向上させる取り組みのこと。

**Q** 町の現在の状況、又、今後の対応・対策は。

**A** 企画調整課長 令和5年4月から地域活性化起業者制度を活用し、IT関連会社からデジタル専門人材を派遣していただき、DX推進に向け取り組んでいる。また、窓口業務の改善や業務効率化など、時代に即した多様な働き方への対応を行える体制を整備していく。

**Q** DX推進のための専門部署の新設は考えはないのか。

**A** 町長 人的余裕がないためDX推進課の新設は考えていない。吉野ヶ里町の全体的なビジョンはどう考えるのか。



DX勉強会ワークショップの様子

**A** 町長 DXとは、色々なものをデジタルに置き換え、サービスなどを変革させていくことで、職員がやりがいを持って仕事に取り組む

ことを大切にしながら、「ひとよし・まちよし・住んでよし」の町の実現に向け、吉野ヶ里町らしいDXを推進していきたい。

## ふるさと納税について

**Q** 過去3年間の現状は。

**A** 企画調整課長 令和2・3・4年度合計で件数約30万件、寄付金額約45億円である。



ふるさと納税業務担当課

**Q** 10月からの制度改正後の今年度の応援寄附金の予想額は。

**A** 企画調整課長 令和5年度のふるさと納税見込額は、25億30億円と見込んでいます。昨年度と比べ5億円増を目標に努力していきます。

## その他の質問

● 温泉施設について  
現在の状況について  
・施設のリニューアルについて



山茶花の湯

# 浄化センターの豪雨対策は



木下 大学  
議員



建設事業課長

豪雨緊急時、ポンプ増設により日最大  
汚水処理量「約15000m<sup>3</sup>/日」  
を想定している。

**Q** 浄化センター工事の目的、工事期間、工事費用は。

**A** 建設事業課長 豪雨による雨水流入で、施設処理能力（7600m<sup>3</sup>/日最大）以上の汚水が流入。マンホールからの溢水及び住宅で下水が流れない等の解消のため、ポンプの設置、土木・機械・電気設備の工事等を令和5年12月22日に完了予定。工事の総額「約9,000万円」程度を見込む。

実施。浄化センターに流入した下水を、「ポンプ池」↓消毒設備↓河川放流している。

**Q** 浄化センターの処理方式は。



浄化センター（豆田）

**A** 建設事業課長 オキシデーシオンデイツチ方式（OD）で

**Q** 豪雨時の浄化センター流入量は。

**A** 建設事業課長 令和3年8月の豪雨時における日最大流入量（流量計）は「約12,300m<sup>3</sup>/日」で、今回のポンプ増設により、日最大汚水処理量を、「約15,000m<sup>3</sup>/日」に想定している。

**Q** 現在の処理能力で可能な新規の住宅件数は。

**A** 建設事業課長 平常時、5,000m<sup>3</sup>/日として、4人家族世帯の汚水量を約800ℓ/日（0.8m<sup>3</sup>）の計算で、一般住宅（一戸建て、共同住宅）「約3、

000世帯」分の処理が可能。

## 町議会議員の立候補者は

**Q** 合併後の町議会議員選挙の投票日、定員、立候補者数、投票率の推移は。

**A** 総務課長 表に示すとおり。

町議会議員選挙の立候補者数と投票率

投票日	定員	立候補者数	投票率
H18. 4.16	15人	19人	78.10%
H22. 3.28	15人	19人	74.13%
H26. 4.13	12人	14人	68.66%
H30. 3.25	12人	14人	64.73%
R 4. 4.10	12人	12人	無投票

**Q** 議員の報酬はどのようになっているのか。

**A** 総務課長 吉野ヶ里町議会基本条例第18条第2項、議員報酬の改正に当たっては、町の常勤特別職及び一般職の職員に支給される給与の状況、他の市町の動向や町の財政状況を総合的に考慮し、議会及び議員活動を関して町民の意見を聞くとともに、吉野ヶ里町特別職報酬等審議会の意見を尊重するものとする。



森田 浩文 議員



町長

他の既存公共施設も老朽化している。今は施設管理を徹底せざるを得ない。

築50年と老朽化する三田川小学校新築へ向けた計画は

三田川小学校では、トイレの悪臭、窓の開閉困難等、築50年と老朽化が深刻である。過去10年間の補修工事の状況は。

学校教育課長 毎年随時補修工事を行っており。総額約1億5千万円程の予算を投じている。

本町は教育基金も積み立てており、文科省の補助も2分の1受けることが可能、起債をして後年度交付税措置を受けることも出来る。老朽化による学校施設の危険性も疑われているが、校舎新築を提案するのか。

町長 防衛省補助の助成も受けている。計画性をもって進めていきたいが目の前の問題に対応していくしかない。



三田川小学校ではトイレ臭や窓の開閉難など補修箇所が山積している。

中学校統合化について 町の中心地づくりの中に統合中学校

町長 統合中学校も入っているという回答を受けているが、具体的な提案はない。統合庁舎予定地周辺は開発の打診も増えており、学校用地が不足する危惧もある。学校施設建設へ向けた中長期的な計画が必要では。

町長 統合中学校への意気込みは十二分にある。しかし、優先順位を付けて、予算の貯えをしながら取り組まねばならない。財政上の限界もある。企業誘致等に力を入れながら予算確保に努めなければならぬ。

土砂災害の状況と対応

近年は局地的な豪雨により、広域な山間地を有する本町では災害全容の把握が困難である。ドローンの導入は。

農林課長 災害査定時の撮影目的のドローン導入の必要性は感じている。操作研修に参加しており次年度導入に向けて協議を行っている。



坂本地区の浦田川入り組んだ山災害の全容把握は困難

児童虐待について

令和3年時点だが全国で約20万件、佐賀県でも児童虐待相談

の処理件数が987件となっている。本町の状況は。

子ども・保健課長 R2年度34件、R3年度32件、R4年度の31件と相談件数は微減である。

産後うつ等の問題の発生を防止するために、児童福祉法では特定妊婦として登録し必要な支援を行う様定められている。本町における状況は。

子ども・保健課長 令和5年度は2名が登録されている。5名の保健師、1名の看護師により令和4年度母子手帳交付155件すべてに面談を行い対応している。

子ども・保健課長 該当する児童を確認した場合は学校・教育委員会・福祉課と情報共有に努め、福祉サービスなど適切な支援に繋がっていくと考える。

ヤングケアラーの実情について

国（厚生労働省）は2020年12月から21年1月に中高生ケアラーの全国調査をしている。

本町にも調査があったのか。又、結果はどのようなになったのか。

子ども・保健課長 本町の要保護児童対策地域協議会には、2021年1月25日～2月26日の間で調査があり、件数は0件であった。

佐賀県に調査はあるのか。

子ども・保健課長 県が把握している情報であるが、現時点で佐賀市のみで、今年度予定が唐津市、鳥栖市、武雄市、伊万里市となっている。

こども家庭庁では、これまでの支援や不足点を聞き取る実態調

以前から多少被害があったが、2～3年前から被害が拡大している。

農林課長 状況は把握している。巡回しているが、酷い状態だ。作付面積の半分以上が被害にあっている圃場もある。要因として田植時の長雨で浅水管理が難しかったこと、駆除薬剤が流出したこと等があげられる。

被害が拡大すれば辞める人が広がっていく可能性がある。対策や支援はどのように考えているか。

稲作のジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の被害対策について



中村 裕一 議員



農林課長

駆除薬剤散布の補助金や侵入防止ネット直付後の減水管理の指導を行う

農林課長 駆除薬剤散布による経費に対し、補助金の交付や流入口のネットの使用の助言、浅水管理、荒起こしの後の石灰窒素と水張りとの組み合わせなど今後指導していく。



ジャンボタニシ用薬剤



ジャンボタニシの被害状況

ヤングケアラーの定義



出典：一般社団法人日本ケアラー連盟 イラスト：Izumi Shiga ※一部使用

**6月**  
2日 6月定例議会開会(～13日)  
13日 議会広報編集特別委員会  
19日 議会改革特別委員会  
21日 全員協議会  
29日 吉野ヶ里町防衛協会理事会  
議会広報編集特別委員会

**7月**  
5日 議会広報編集特別委員会  
11日 防衛省・総務省要望活動(～12日)  
12日 議会広報編集特別委員会  
18日 第1回臨時議会・全員協議会  
26日 議会改革特別委員会  
29日 佐賀東部緩衝緑地等  
維持管理協議会総会  
夏ふれあい祭り

**8月**  
2日 佐賀中部広域連合議会勉強会  
16日 東部環境施設組合議会勉強会  
17日 佐賀中部広域連合定例会(～21日)  
18日 東部環境施設組合議会説明会  
23日 議会運営委員会  
24日 福岡県広川町役場議場視察  
25日 国民健康保険運営協議会  
28日 議会運営委員会  
31日 東部環境施設組合8月定例会  
県内町議会議員研修会

## 次の意見書を提出しました

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう医療・介護など社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策など多岐にわたる役割が求められている。

しかし現実に地域公共サービスを担う人員は不足しており、疲弊する職場実態にある中、新型コロナウイルス、また多発する大規模災害への対策も迫られている。

これらに対応する地方財政について政府は「骨太方針2021」において、地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしているが、増大する行政需要に十分対応し得るか、大きな不安が残されている。

このため2024年度の政府予算と地方財政の

検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積り、地方財政の確立の実現を求める。

増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、十分な地方一般財源総額の確保など10項目を定める意見書を提出。

### 保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書

保育施設での重大事故は、保育士や事務職員などの人員不足が大きな原因であり、一層深刻化しており、一人ひとりの保育士の努力では限界にきている。

精一杯働く保育士等職員が疲弊し職場を去ることのないよう、適切な配置基準に改善するとともに、安心して働き続けることのできる処遇に速やかに改善すること。

### 編集後記

暦では、秋の季節ですが、酷暑の夏を引きずっている今日このごろです。

体調を少し崩された方もいたでしょう。

しかし、待望の秋です。味覚の秋です。美味しい品々を食べて体調を整えましょう。

物価高、円安、どこまで進むでしょう。ガソリン1リットル当たり50円、60円の時代があつたなんて遠い記憶です。

(裕二)



○議会広報特別委員会

- 委員長 多良 光英
- 副委員長 森田 浩文
- 委員 古川 輝英
- 〃 吉富光三郎
- 〃 小川 勝利
- 〃 中村 裕一